家庭科（家庭基礎）　学習指導案（例）

|  |  |
| --- | --- |
| 日 　時 | 令和○○年○月○日（○）第○校時 |
|  | 普通科　　第○学年○組（男子○名，女子○名） |
| 使用教科書 | 「○○（教科書名）」（○○出版社（出版社名） |
| 指　導　者 | ○○高等学校　教諭　○　○　○　○ |

１　単元名　　　　「消費者として自立する」

２　単元の目標　　消費生活の現状と課題や消費者の権利と責任について理解させ、適切な意思決定に基づいて行動で　　きるようにするとともに、生涯を見通した生活における経済の管理や計画について考える事ができるようにする。

３　単元の指導観

　(1) 生徒の実態

　食分野に関する興味・関心は高いが、消費分野に関する興味・関心は低い傾向である。多くの生徒は授業に集中　　　して取り組むことができ、また、ポイントを絞った授業ノートを作ることもできる。しかし、発言や発表などには　　　消極的であり、全体的におとなしい印象を受ける。

　(2) 指導の方針

　現代の生活において、お金は必要不可欠なものである。しかし、お金は手段であって目的ではない。お金に生活　　　を支配されないためにも、自分自身の生活の中でお金の位置付けを行うことが必要となる。卒業後すぐに自立して　　　いく生徒の多い本校において、自分自身の経済生活について考えることを通して、生き方そのものを考えさせたい。　　　また、経済社会とのつながりを意識させながら、現実的なレベルで家計を考えることにつなげていきたい。この時　　　期に消費者として自立する力を付けることで、自信をもって自分の将来を見通した経済計画を立て、消費行動がと　　　れるようにしたい。

４　単元の評価規準

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 関心・意欲・態度 | 思考・判断・表現 | 技能 | 知識・理解 |
| ・自分が消費者であることを踏まえて、適切な意思決定に基づいて行動できるようにし、生涯を見通した生活における経済の管理や計画について関心をもち、意欲をもって学習活動に取り組んでいる。 | ・消費生活と生涯を見通した経済の計画について、課題を見いだし、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し、表現している。 | ・財・サービスの選択に際し、様々な生活情報を収集・整理することができる。 | ・消費生活の現状と課題や消費者の権利と責任について理解し、適切な意思決定に基づいて責任をもって行動できるために必要な知識を身に付けている。 |

５　単元の指導計画及び評価計画（７時間）

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 時 | 学習内容 | 評価の観点 | | | | 評価規準・評価方法 |
| 関 | 思 | 技 | 知 |
| １ | 【社会保障と保険】  ○生活を支える社会保障  ○リスクに備える |  |  |  | ● | ・人生の中で起こり得る危機〈リスク〉　を予想し、それに備えるための準備の　必要性を理解している。  （観察）（ペーパーテスト） |
| ２ | 【経済的に自立する】  ○経済から見た暮らし  ○家計とその特徴 |  |  |  | ● | ・経済の仕組みを踏まえて、ライフステ　ージと生活費の関わりについて理解し　ている。  （観察）（ペーパーテスト） |
| ３ | 【主体的な消費行動と契約】  ○「買う」ことは「契約」  ○主体的な消費行動 |  |  | ● |  | ・欲しい品物の情報を収集し、整理する　ことができる。  （ワークシート）（観察） |
| ４ | 【多様化する販売方法と問題商法】  ○無店舗販売の増加と問題商法  ○通信販売とインターネット | ● |  |  |  | ・ロールプレイを通して、トラブルへの　対処法及び予防法を意欲的に考えよう　としている。　（観察） |
| ５ | 【支払い方法の多様化と消費者信用】  ○支払い方法の多様化  ○多重債務に陥らないために | ● |  |  |  | ・消費者信用の金利の計算を通して、借　金することについて確認し、よりよい  支払い方法を考えようとしている。  　（観察）（ワークシート） |
| ６ | 【消費者の権利と責任】  ○消費者の権利を守るために  ○これからの消費者 |  | ● |  |  | ・消費者の権利と責任について、適切な  意思決定に基づいて行動できるように  思考を深め、適切に判断し、表現して  いる。  （観察）（ワークシート） |
| ７  本時 | 【消費者として自立する】  ○生涯を見通した経済計画 |  | ● |  |  | ・生涯を見通した自身の経済計画の必要性に関心をもち、車の購入について具体的に考え、まとめている。  　（観察）（ワークシート） |

６　本時の指導計画

　(1) 題　目　　「消費者として自立する」

　(2) 目　標 ・生涯を見通した自身の経済計画の必要性に関心をもち、車の購入について具体的に考える。

【思考・判断・表現】

　(3) 準備物 車の広告、自動車保険のリーフレット、ワークシート

　(4) 本時の展開（７時間のうちの第７時）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 段階 | 学習内容 | 学習活動 | 指導上の留意点 | 評価〔評価方法〕 |
| 導  入  5分 | ・本時の学習内容　の確認 | ・本時の学習内容を確認す　る。 | ・ホワイトボードに整理してお　　く。  ・消費経済分野の学習のまとめと　して、自動車購入のプロセスを　たどっていくことを伝える。 |  |
| 展  開  40分 | ・私の乗りたい車  ・意見発表  ・購入に向けて  ○費用  ○維持費      ○自動車保険  ・車の購入と生活　設計 | ・自分が乗ってみたい車を　イメージする。  ・選んだ車及びその理由を  　発表する。  ・自動車購入に必要な費用　を知る。  ・自動車保険の仕組みを知　る。  ・支払いにローンを組む。　日々の生活費からこのロ  　ーンが引き落とされてい　くことを想定する。  ・今後の自身の生活費から　自動車購入資金を用意す　ることを想像する。 | ・車の広告などを利用して、乗り　たい車を選ばせる。その際、何　を重視して選択したかその理由　をまとめさせる。  　〔車の広告、ワークシート〕  ・用途、デザイン、安全性、機能  や環境への配慮など、車選びの  ポイントは多種多様であること  に気付かせる。  ・広告等に掲載されている車両本　体価格に加えて、税金や自賠責　保険などの費用が上乗せされる　ことを知らせる。  〔車の広告、自動車保険のリーフ レット、ワークシート〕  ・自動車事故で想定されるリスク　を考えさせ、保険に加入するこ  との大切さを知らせる。  ・ローンは簡単に組めるが、実際　に支払っていくことの大変さ　　や、生涯を見通した経済計画の　必要性について考えさせる。  ・自分のライフスタイルに合わせ　て収入、支出、貯蓄の計画を立　てることの大切さを知らせる。 | ○生涯を見通した自  身の経済計画の必要性に関心をもち車の購入について具体的に考え、まとめている。  【思考・判断・表現】  [観察、ワークシート] |
| ま  と  め  ５分 | ・本時のまとめ  ・次時の学習内容 | ・本時のまとめを行う。  ・次時の学習内容を確認す　る。 | ・生徒に授業の振り返りをさせ、記入させる。  ・ワークシートを回収する。  ・次時の準備について伝える。 |  |